

第4回 駅ホームにおける安全性向上のための検討会

平成28年10月18日(火)

13:00～14:15

国土交通省10階共用会議室A

議事次第

1. 近畿日本鉄道 大阪線・河内国分駅で発生した人身障害事故について
2. その他連絡事項

【配付資料】

議事次第、出席者名簿、委員名簿、配席図

資料1 : 近畿日本鉄道 提出資料

資料2-1 : マルチドア対応ホームドアの実証実験の開始(京浜急行電鉄)

資料2-2 : 新たなタイプのホームドアについて(国土交通省)

(第4回)「駅ホームにおける安全性向上のための検討会」出席者名簿

【鉄道事業者】

()は代理出席

東日本旅客鉄道(株)	廣川 隆 (原田 彰久)	安全企画部長 (安全企画部 次長)	代理出席
	今井 政人 (上村 龍作)	投資計画部長 (投資計画部 課長)	代理出席
東海旅客鉄道(株)	生田 元 (江口 圭一)	総合企画本部副本部長 投資計画部長 (投資計画部 担当課長)	代理出席
	古橋 智久 (黒田 直子)	安全対策部長 (安全対策部 副長)	代理出席
西日本旅客鉄道(株)	半田 真一 (伊藤 宏明)	取締役兼常務執行役員 鉄道本部副本部長 鉄道本部安全推進部長 (鉄道本部 安全推進部次長)	代理出席
東武鉄道(株)	小野里 一彦	安全推進部長	
	高野 寿久	計画管理部長	
西武鉄道(株)	岡崎 利生	安全推進部長	
京成電鉄(株)	金子 庄吉 (林 祐悟)	計画管理部長 (計画管理部 管理担当課長)	代理出席
京王電鉄(株)	佐原 拓爾	安全推進部長	
	井上 晋一	計画管理部長	
小田急電鉄(株)	立山 昭憲	交通企画部長	
	宮坂 正俊	安全・技術部長	
東京急行電鉄(株)	富田 秀樹	鉄道事業本部 安全戦略推進委員会 統括部長	
	戸田 匡介	鉄道事業本部 事業戦略部 統括部長	
京浜急行電鉄(株)	小林 秀行	鉄道本部 安全推進部長	
	竹内 明男	鉄道本部 鉄道統括部長	
	森田 憲和	鉄道本部 鉄道統括部 事業統括課 調査役	
相模鉄道(株)	高橋 正人	安全対策部長	
名古屋鉄道(株)	綿貫 琢也	安全統括部長	
近畿日本鉄道(株)	安東 隆昭	鉄道本部 企画統括部 副統括部長 執行役員	
	江川 武史	鉄道本部 企画統括部 運転保安部長	
	増田 康浩	鉄道本部 企画統括部 安全推進部長	
南海電気鉄道(株)	中村 毅	鉄道営業本部 統括部長	
京阪電気鉄道(株)	佐藤 之浩	安全推進部長	
阪急電鉄(株)	三田 和司	都市交通事業本部 運輸部長	
阪神電気鉄道(株)	楠葉 誠司 (増味 康彰)	都市交通事業本部 運輸部部长 (都市交通事業本部 運輸部課長(安全担当))	代理出席
西日本鉄道(株)	牟田口 英貴	鉄道事業本部 運転車両部長	
東京地下鉄(株)	米 彰 (荻野 智久)	鉄道本部 鉄道統括部長 (鉄道本部 安全・技術部 課長)	代理出席
	小川 孝行	鉄道本部 営業部長	
東京都交通局	裏田 勝己	安全管理担当部長	
横浜市交通局	大西 順一 (大木 達夫)	高速鉄道本部長 (高速鉄道本部営業課 職務係長)	代理出席
大阪市交通局	大矢 雅士 (鍋島 寛之)	鉄道事業本部 鉄道統括部長 (鉄道事業本部 鉄道統括部 鉄道バリアフリー企画担当課長)	代理出席
	岡橋 和成 (中野 満夫)	経営管理本部 経営管理部長 (経営管理本部 経営管理部 経営企画課長)	代理出席

【関係協会】

(一社)日本民営鉄道協会	高橋 俊晴	常務理事 技術部長	
(一社)日本地下鉄協会	石島 徹	業務部長	

【国土交通省】

国土交通省	潮崎 俊也	技術審議官(鉄道)	
	山上 範芳	審議官(鉄道)	
国土交通省 鉄道局	中山 康二	技術企画課長	
	山崎 輝	安全監理官	
	川上 洋二	鉄道サービス政策室長	
	日野 祥英	都市鉄道政策課 駅機能高度化推進室長	
	岸谷 克己	技術開発室長	

「駅ホームにおける安全性向上のための検討会」委員名簿

東日本旅客鉄道(株)	廣川 隆 今井 政人	安全企画部長 投資計画部長
東海旅客鉄道(株)	生田 元 古橋 智久	総合企画本部副本部長 投資計画部長 安全対策部長
西日本旅客鉄道(株)	半田 真一	取締役兼常務執行役員 鉄道本部副本部長 鉄道本部安全推進部長
東武鉄道(株)	小野里 一彦 高野 寿久	安全推進部長 計画管理部長
西武鉄道(株)	松本 康一郎 岡崎 利生	執行役員 計画管理部長 安全推進部長
京成電鉄(株)	金子 庄吉	計画管理部長
京王電鉄(株)	佐原 拓爾 井上 晋一	安全推進部長 計画管理部長
小田急電鉄(株)	立山 昭憲 宮坂 正俊	交通企画部長 安全・技術部長
東京急行電鉄(株)	富田 秀樹 戸田 匡介	鉄道事業本部 安全戦略推進委員会 統括部長 鉄道事業本部 事業戦略部 統括部長
京浜急行電鉄(株)	小林 秀行 竹内 明男	鉄道本部 安全推進部長 鉄道本部 鉄道統括部長
相模鉄道(株)	杉本 法広 高橋 正人	経営管理部長 安全対策部長
名古屋鉄道(株)	綿貫 琢也	安全統括部長
近畿日本鉄道(株)	江川 武史 増田 康浩	鉄道本部 企画統括部 運転保安部長 鉄道本部 企画統括部 安全推進部長
南海電気鉄道(株)	中村 毅	鉄道営業本部 統括部長
京阪電気鉄道(株)	佐藤 之浩	安全推進部長
阪急電鉄(株)	三田 和司	都市交通事業本部 運輸部長
阪神電気鉄道(株)	楠葉 誠司	都市交通事業本部 運輸部部長
西日本鉄道(株)	牟田口 英貴	鉄道事業本部 運転車両部長
東京地下鉄(株)	米 彰 小川 孝行	鉄道本部 鉄道統括部長 鉄道本部 営業部長
東京都交通局	牧野 和宏 裏田 勝己	企画担当部長 安全管理担当部長
横浜市交通局	大西 順一	高速鉄道本部長
大阪市交通局	大矢 雅士 岡橋 和成	鉄道事業本部 鉄道統括部長 経営管理本部 経営管理部長
(一社)日本民営鉄道協会	高橋 俊晴	常務理事 技術部長
(一社)日本地下鉄協会	石島 徹	業務部長
国土交通省	潮崎 俊也 山上 範芳	技術審議官(鉄道) 審議官(鉄道)
国土交通省 鉄道局	中山 康二 山崎 輝 川上 洋二 日野 祥英 岸谷 克己	技術企画課長 安全監理官 鉄道サービス政策室長 都市鉄道政策課 駅機能高度化推進室長 技術開発室長

平成 28 年 10 月 18 日

近畿日本鉄道株式会社

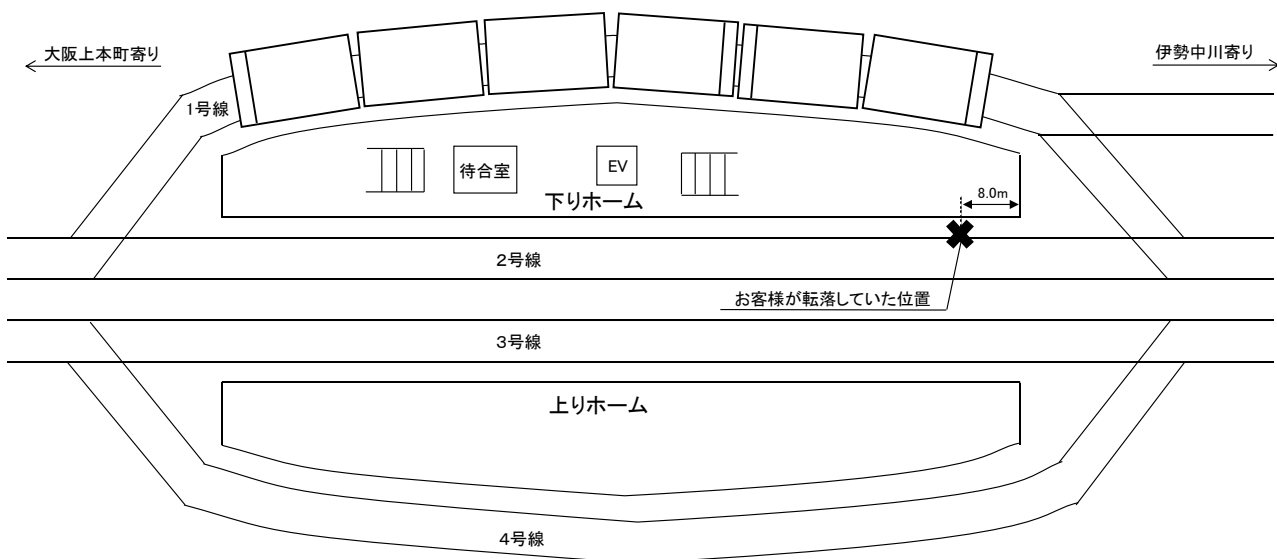
大阪線河内国分駅で発生した鉄道人身障害事故について

1. 概要

平成 28 年 10 月 16 日（日）11 時 8 分ごろ、大阪線鶴橋駅から榛原行き区間準急（6 両編成）にご乗車されていた視覚に障害をお持ちのお客は、同列車が河内国分駅 1 号線で後続の特急列車を待避するため停車中、同列車の 1 両目から一人でホーム上に出た後、2 号線に転落した。

一方、2 号線を通過しようとした大阪上本町発鳥羽行き特急（4 両編成）の運転士は、ホーム区間に進入直後、ホームと進行方向左側のレールとの間に影を認め、直ちに急停止の処置および気笛を吹鳴するとともに防護無線を発信した。列車が影に近づくとつれ、それが人であることが判明したが、間に合わず列車前面左方下部と接触し、停車した。

2. 見取り図



3. その他

- (1) 当該お客様には、女性のお客様 2 名が付き添っておられた。
- (2) 当該お客様は白い杖を使用していなかった。
- (3) 当該お客様が視覚に障害をお持ちとの情報は、付添いのお客様からの証言による。
- (4) 同駅ホームには非常通報装置が設置されているが、他のお客様による操作はされなかった。
- (5) 同駅ホームには視覚障害者誘導用ブロック（警告ブロック・誘導ブロック）は設置されているが、内方線は設置されていない。

以上

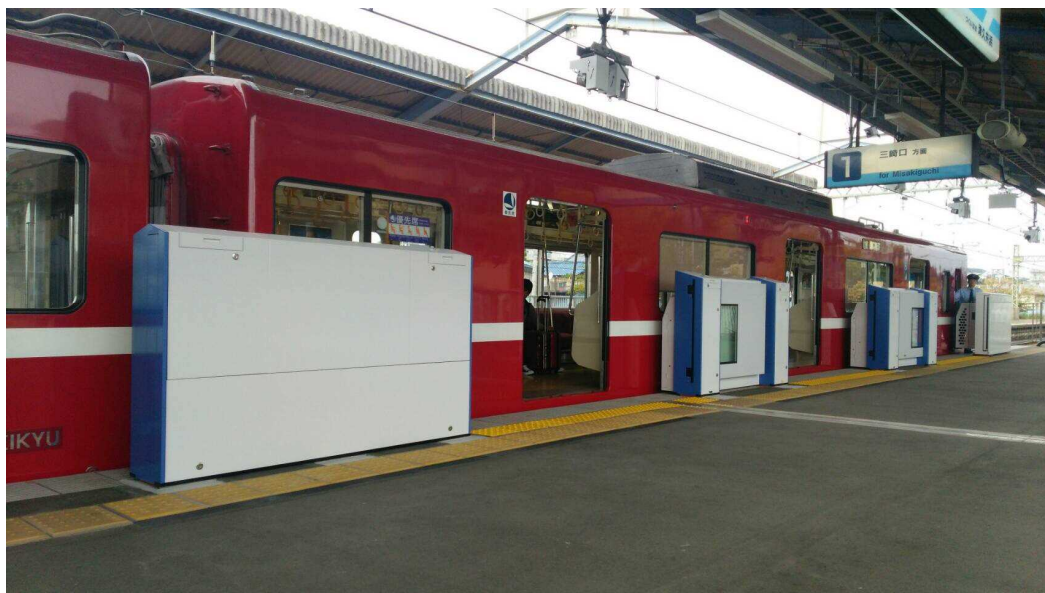
「マルチドア対応ホームドア（どこでもドア®）」実証実験 京急久里浜線 三浦海岸駅にて10月24日（月）始発より開始します

京浜急行電鉄株式会社（本社：東京都港区，社長：原田 一之，以下 京急電鉄）では，三菱重工グループの三菱重工交通機器エンジニアリング株式会社（本社：広島県三原市，社長：坂本一秀，以下 MHI-TES）が開発を進めてきた「マルチドア対応ホームドア（以下，「どこでもドア®」という。）」の実証実験を2016年（平成28年）10月24日（月）始発電車から京急久里浜線三浦海岸駅において約1年間実施いたします。

この「どこでもドア®」は，これまで課題であった，ドア数やドア位置などが異なる車両が運行する路線に対応するホームドアとして開発を進めているもので，車両改修を必要とせず地上設備のみでホームドア開閉の連携が可能な「地上完結型連携システム」を採用しており，営業路線において，実際に稼働させるのは全国で初となります。

今回の実証実験は，MHI-TESが国土交通省鉄道局の鉄道技術開発費補助金の支援を受けて行われるもので，「どこでもドア®」の安全性および耐久性，ならびに「地上完結型連携システム」の安定性について検証を行います。

京急電鉄では，本実証実験に協力するとともに，今後ホームドアの設置を含む，より一層のホーム安全対策を実施してまいります。



三浦海岸駅に設置された「どこでもドア」 10月24日（月）より実験稼働予定

※資料配布先

国土交通記者会，ときわクラブ，横浜経済記者クラブ，横須賀市政記者クラブ

※この資料に関するお問い合わせ

京急電鉄	総務部広報課	尾原・中野	TEL.	03-3280-9129
三菱重工業	広報部広報グループ	松原・渡部	TEL.	03-6716-2168

○車両扉位置の相違やコスト低減等の課題に対応可能な新たなタイプのホームドアの技術開発

方式	戸袋移動型	昇降バー式	昇降ロープ式	昇降ロープ式(支柱伸縮型)	マルチドア対応ホームドア
開発主体	(株)神戸製鋼所	(株)高見沢サイバネティックス	日本信号(株)	西日本旅客鉄道(株)	三菱重工交通機器エンジニアリング(株)
概要	 	 	 	 	
特徴	戸袋が移動することにより、異なる扉位置の車両やオーバーランに対応	ドア部分を昇降するバーやロープとすることにより開口部を広くし、異なる扉位置の車両やオーバーランに対応 ホーム基礎の補強工事を簡素化することにより設置コストを低減	ドア部分を昇降するロープとすることにより開口部を広くし、異なる扉位置の車両やオーバーランに対応 支柱を伸縮式とすることでホーム端の見通しを確保	ホームドアの開閉位置を変えることにより、異なる扉位置の車両に対応 車両改造を必要とせず、地上センサーによりホームドアの開閉を自動化	
現地試験等	西武新宿線新所沢駅にて現地試験実施【H25. 8~H26. 2】	相鉄いずみ野線弥生台駅にて現地試験実施【H25. 10~H26. 10】	東急田園都市線つきみ野駅にて現地試験実施【H25. 10~H26. 9】	JR桜島線桜島駅にて現地試験実施【H25. 12~H26. 3】 JR東海道線六甲道駅にて試行運用【H26. 12~H27. 3】	京急久里浜線三浦海岸駅(2ドア車と3ドア車が混在)にて現地試験実施【H28. 10~】
実用化に向けた動き等		JR八高線拝島駅にて試行導入(JR東日本)【H27. 3~】 下降時の支柱高さを抑えてホーム端の見通しを確保した新たなタイプを開発中		JR東海道線六甲道駅での試行運用の結果、実用化可能との判断により、同駅において継続設置【H27. 4~】 JR東海道線高槻駅にて稼働中【H28. 3~】	